©錦城高校新聞委員会編集室 2025
錦城高校新聞 ２０２５年（令和７年）１１月１２日（水曜日）

生徒会選挙前 討論会

選挙管理委員会・新聞委員会共同企画 各候補者の意見は？

11月1日（土）に選挙管理委員会と新聞委員会の共同で初の企画となる候補者討論会が行われた。討論会では選管が募集した生徒からの質問に、候補者が回答した。質疑応答の様子をお伝えする。（編集部共同取材）

司会（選管委員長）：どんな錦城高校にしたいか、という質問に答えてください。

神山さん（副会長候補）：目の前の欲に流されずに自己規律を持って達成すべき目標に向かって生徒一人一人が自ら努力していく学校を目指します。

水上さん（監査長候補）：未来の錦城生となる中学生に見てもらったときに楽しそうだな、良さそうだなと思ってもらえる学校を目指します。そのためにスポーツフェスティバルの開催やスマホの制限緩和をします。

小林さん（監査副候補）：公約に掲げているように錦城の治安を整えます。登下校ルールの徹底などを考えています。また、エレベーターは先生の協力も得ながら8時20分を過ぎても利用する人がいる点を改善します。

平本さん（副会長候補）：生徒が思い描く学校にします。意見箱を活性化させます。具体的には意見箱の増設などをし、意見を言ってもらいやすくします。

神田さん（生徒会長候補）：学校生活が充実するような学校にします。錦城祭のスマホの自由化などが手段の一つと考えています。他にももっと要望があればうれしいです。生徒一人一人が校則と向き合うことが大切で、生徒会報や昼の放送、全校集会などでのルールの周知をします。

田原さん（監査副候補）：私は今の錦城が生徒主体の学校だとは思っていません。生徒会を機に生徒で変化させられる学校にしたいです。

石井さん（副会長候補）：快適な学校にしたいです。入学して半年が経ち、女子生徒からは靴下を自由にしてほしいなど、色々な意見を聞きました。夏の暑さや今に合った対策ができるようにしたいです。

鈴木さん（副会長候補）：私は不便さを感じています。校則が厳しすぎるからです。ネクタイを着けないとブレザーを着てはいけないなど、『それいる？』という校則や校則を細かく見るとお菓子を持ち込んではいけないとか。いらない校則を見直したいです。

畑中さん（副会長候補）：皆が過ごしやすい錦城を目指します。日常生活で意見が出

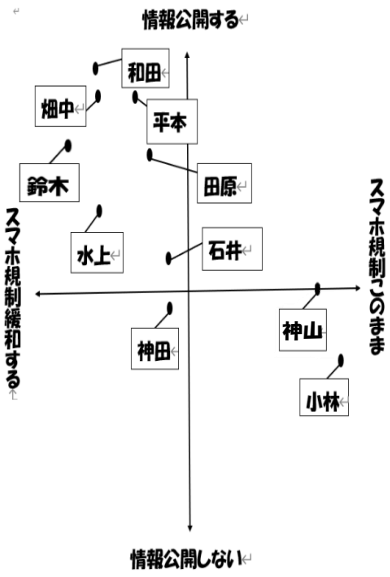
慎重に回答する候補者たち

今回多くの候補者が言及するスマホルール緩和と生徒会活動の広報。新聞委員会からも各候補に改めて聞いた。

Q 錦城生の違反の現状も踏まえて、どのようにいつまでの公約達成を考えますか？

神田さん（生徒会長候補）：錦城祭での利用ができるようはしたい。それが長いスパンで見たときに日常での自由化につながれる。

神山さん（副会長候補）：厳しくも優しくもしなくていい



→候補者自身にフローチャート上に点を打ってもらいました

平本さん（副会長候補）：生徒がルールを守る前提で話せば、行事中に使えるようにまでは緩和したい。

畑中さん（副会長候補）：行事中に使えるようにしたい。最終的には日常で使えるようにしたい。

石井さん（副会長候補）：PCではスマホとほぼ同じことができるが、行事中のみ可にするのはあり。

鈴木さん（副会長候補）：行事中はありに。でもルールを守れるようになってから。

～新聞委員会からの質問コーナー～ スマホルール 候補者立場は？

と思っている。生徒個人が自分で制限できるように。それをサポートしていくスタンスを取っていきたい。

水上さん（監査長候補）：行事は思い出を残す時間だと思う。そのために行事中はスマホを使えるように。

小林さん（監査副候補）：ルール緩和について自分からは動く気はない。生徒がしたいなら後押ししたい。

田原さん（監査副候補）：初めは行事。問題が起きなければ段階を踏んで日常生活でも緩和を。

和田さん（錦城祭候補）：準備日と錦城祭の三日間使えるようにしたい。

Q 生徒会の活動が見えないという声があります。今後の広報について教えてください。

神田さん（生徒会長候補）：公開していくべきだが、未確定部分は言えない。決まったことは生徒会報や新聞を通じて伝えられたら。

神山さん（副会長候補）：校則を変えようではなく、生徒個人の意識改革をスタンスとしてやっていきたい。

平本さん（副会長候補）：会報やポスターを活用してどのような活動をしたいか。また意見などに公開できる範囲で答えていきたい。

畑中さん（副会長候補）：グーグルクラスルームで生徒会の様子をお伝えしたい。アナログでも伝えられたら。

石井さん（副会長候補）：新聞に載せたり、放送部とコラボし、お昼の放送などを通して伝えられたら。

鈴木さん（副会長候補）：先生方から同時に話してもらう。

水上さん（監査長候補）：クラスルームや新聞で伝えられたら。

小林さん（監査副候補）：「こういった意見を目安箱で受け取りました」という情報を伝えていきたい。

田原さん（監査副候補）：クラスルームを用いたり、大事なことはホームルームやポスターなどで知らせたりしたい。

和田さん（錦城祭候補）：新聞を活用したり、ホームルームなどデジタルを活用したりしたい。

各候補の皆さん、回答ありがとうございました。

選管「票の重みを再確認して」

選挙管理委員会の委員長の西村英歌さん（2M）は「今年の生徒会選挙は立候補者が多く、特に一年生のやる気をすごく感じます」と話す。

今年は生徒会副会長に5人が立候補しており、激しい戦いが予想される。投票について、西村さんは「一票一票に責任と理由、そして納得の意を込めて投票するようにしてください」と呼びかける。信任投票となった場合、その人が当選する傾向にあると話す西村さん。「信任投票となる場合でも、しっかりとその人の公約などを聞いて軽い気持ちで票を入れないようにしてください」と語る。

本日行われる生徒総会と生徒会選挙に向けて今一度、自分が持つ一票の重みを確認しよう。（凪）

一票一票に責任を

活発に意見が交わされる

ここで副会長候補の神山さんが監査副候補の小林さん、副会長候補の田原さんに質問を投げかけた。

神山さん（副会長候補）：公約について、本当にルールを厳しくすれば治安は良くなるのですか？

小林さん（監査副候補）：エレベーターは校則を守らない人に守らせようとしているだけで今ある校則を厳しくしたいのではありません。校則を守ってない人がいるのが嫌いなのでそこを守らせたいです。

神山さん（副会長候補）：田原さんの『変化がない』ということについて、変化は必要なのでしょうか？

田原さん（監査副候補）：今は要望があるという事実とそれが叶っていないという状態にあるので要望に応えられていない状態を変えたいと考えています。

司会：生徒からの質問を続けまる。本当に公約を達成できますか。

小林さん（監査副候補）：特別新たなことを始めることではありません。エレベーターなどに監視役の先生をつけるなどという事は特別に重いことではないと思います。（2面に続きます）

コダレンジャー錦城に出現！

10月25日(土)、映画研究部の次の作品作成のため、我らが小平の英雄コダレンジャーが錦城高校に現れた。コダレンジャーの 3 人と悪役ワルビーとその手下のガイチューン達が旧校舎屋上で激しい戦いを繰り広げた。現在、作品は完成しており来年の総文祭にも出展するそう。今後の映研にもこうご期待！

むらさき草

久しぶりに風邪をひいた。特に鼻づまりと咳の症状がいつもよりひどい。頭痛が四六時中付きまとい、けだるさと咳でまともに寝られない日が続く。極めつけには、味覚がなくなった▼私は食べることが好きで、たとえ風邪をひいたとてその食欲がなくなることはないはずなのだが。いつぶりだろうか。食欲がなくなったのは。インフルかコロナを疑い検査をしたのだが、どっちも陰性で看護師さんに「ただの風邪です」と言われる始末▼仕方なく家へ帰り、泣く泣く夕食をとった。タコライスを食べたのだが食感しか分からず、トマトはなんか水っぽい。レタスはあの特有の青臭さがなく、シャキシャキはしていたが、なんか水っぽい。辛さは舌へ伝わってきたがスパイスの風味は感じない。水っぽく辛い何かという感じだった。食べているのがつらかった。ボーカルしかないバンドがあったらこんな感じだろうか▼そんなことを思いながら、母からもらったプリンも食べた。甘い。卵の風味は感じられないが、甘い。甘さは感じられる。感動だった。ボーカルしかいなかったバンドにギターが加わった。プリンってこんなに美味しいものだっただろうか。ここ最近で一番嬉しかった。甘いは正義だ。味覚が感じられるということはすごく幸せなことだった▼日常で感じている当たり前、ほかほかのごはん、朝起きると聞こえる鳥のさえずりや道を歩いていると漂ってくる花の香りなど、そういうほんの少しの幸せこそが日常をかけがえのないものとし、豊かにしている▼様々なもので色づいているこの世界に生きていられることを、感謝したい。風邪が治るまで何とか我慢し、治ったら沢山美味しいものを食べよう。食べることの喜びを噛みしめながら。実に楽しみである。（菊）

錦城生、東京 2025 世界陸上を観戦

熱狂する競技場の様子

陸上競技部は9月15日（月）に「錦城高校　東京2025 世界陸上競技選手権大会観戦ツアー」に参加し、東京・国立競技場でモーニングセッションを観戦した。同行した編集部員より大会の様子をお届けする。

暑さの影響で、競技開始時間が早められるといった措置も取られる中、スタンドには多くの観客が集まり、世界中のトップアスリートたちの熱戦を見守った。特に心を打たれたのは女子 3000m障害物予選での日本代表・齋藤みう選手の走りだ。齋藤選手は序盤からリズムよく障害を越えながら先頭集団に食らいつき、最後までスピードを落とすことなく9分24秒72でフィニッシュ。6着で決勝進出にはわずかに届かなかったものの、今年6月のアジア選手権でマークした自己ベスト（9分38秒16）を一気に塗り替え、さらに従来の日本記録を9秒21も更新する快挙となった。テレビやネットで見るのではわからない、想像以上の迫力とスタンドまで押し寄せてくるような、気迫や会場の熱気。勝負が決まるのをほんの一瞬にすべてを懸けて努力を重ねてきた選手たちの姿に、心から尊敬の気持ちを抱くと同時に忘れられない経験となった。（葵・紬）

錦城高校新聞
題字 井口 文章
再刊 第５０２号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2025
みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：選挙前討論会実施！
候補者は校則をどうしたい？
二面：討論会続き
二年生学部説明会開催

生徒からの事前質問一覧…

質問	名前	役職
アイスを食堂外で食べることについて	神田 陸翔	生徒会長候補
生徒会を身近に感じてもらうには	平本 悠夏	副会長候補
スポーツフェスティバルの詳細	水上 渚	監査委員長候補
意見箱をさらに活用するには	畑中龍弥	副会長候補
お菓子を自販機に入れる需要	田原 凛乃	監査副会長候補
監査副会長に可能か		
錦城祭前日にもスマホが使えることについて	和田 瑞樹	錦城祭実行委員長候補
オンライン目安箱がすでにある	畑中龍弥	副会長候補
	平本 悠夏	副会長候補
あえて体育着の理由は	石井裕那	副会長候補

生徒から各候補者に向けた質問

（一面座談会続き）

（小林さん）できることからやっていくようなスタイルで公約を達成できると言い切れます。

石井さん（副会長候補）：女子生徒の靴下の自由化は、色や長さの指定を入れることで統一感を残せると考えています。ジャージ登校禁止はジャージに名前が入っているからという代議員会の人から聞いた話を元に考えると、上履き同様名前が入っている体育着を夏に校内で着用して過ごすことは問題ないと思います。

ここで再び副会長候補の神山さんが会長候補の神田さんに質問をした。

神山さん（副会長候補）：スマホの規制緩和について、変えることができずに今に至っていますが今年はどう差をつけていきたいと考えていますか？

神田さん（会長候補）：球技大会などで試験的導入を実施することから始めようと考えています。

これに神山さんは「試験的に取り入れるのはいいですね」と受け止めた。公約達成は可能か、という元の質問に戻り、候補者が回答を続けた。

平本さん（副会長候補）：意見箱のデジタル化は簡単にできると思います。生徒からの意見が増えるかどうかが大切だと考えているので意見しやすい環境づくりをしていきたいです。

水上さん（監査長候補）：スポーツフェスティバルの実現がどのくらい難しいのかわかりませんが、球技以外のもので生徒に活躍の場を与えられることはいいことだと思います。実現は難しくても進めていきたいです。

田原さん（監査副候補）：中学生の時に生徒会副会長として学校のパンの自販機にドーナツを入れたという実績があります。中学の実績を生かしてお菓子の導入を進めます。

畑中さん（副会長候補）：意見箱については意見箱をどう使ってもらえるかで達成できるかは変わります。

和田さん（錦城祭候補）：デジタルパンフレットは絶対にできます。スマホは自分が使いたいので本当にやる気があります。

立候補者全員への質問は以上で、ここからは生徒から候補者一人一人に向けられた質問が取り上げられた。

司会：神田さんに質問です。食堂外でアイスを食べることについて、教室整備などを保つためにどうしますか？

神田さん（会長候補）：各フロアにアイスを捨てる場所を設置して統括します。

立候補役職	クラス	名前
生徒会長	2G	神田 陸翔
生徒会副会長	1C	神山 咲
	1C	平本 悠夏
	1G	畑中 龍弥
	1J	石井 裕那
	1K	鈴木 琉世
監査委員会委員長	1J	水上 渚
監査委員会副会長	1B	小林 怜翔
	1C	田原 凛乃
錦城祭実行委員長	1H	和田 瑞樹

候補者一覧

司会：平本さんに質問です。生徒会を身近に感じてもらうためにどういったことをしたいですか？

平本さん（副会長候補）：生徒会の活動内容などが今はあまり知らされていないので意見をしても意味がないと思っている人たちに向けて生徒会の活動内容を見せていきたいです。

司会：水上さんに質問です。スポーツフェスティバルはいつ行う予定ですか？

水上さん（監査長候補）：球技大会をリニューアルする形で行いたいと考えています。

司会：スポーツフェスティバルは監査委員が実現できることですか？

このことについては現生徒会副会長の神田さんが答えてくれた。

神田さん（会長候補）：システム的には可能です。

司会：畑中さんに質問です。意見箱をもっと活用するために何をしますか？

畑中さん（副会長候補）：私の中学校には各階に意見箱、紙、鉛筆がセットで置いてありました。それに習ってそう言ったシステムを取り入れたいと考えています。

司会：田原さんに質問です。自動販売機にお菓子を入れる需要はあるのですか？

田原さん（監査副候補）：パンより「おなかいっぱいになる度」が少ない物の需要がパンよりもあるのではないでしょうか。実際に軽食の需要がお菓子と同じぐらいあると考えています。

司会：お金はどこから出るのでしょうか。

田原さん（監査副候補）：自動販売機に入っているパンを一部お菓子に変えるということを計画しているのですが、中学校の時にドーナツの導入に成功した自販機の会社と錦城にあるパンの自販機のメーカーが同じです。その会社は「自動販売機のシステム的、売り上げが出れば中身はそこまでこだわらない」と中学の時に知れたことからお金を一から捻出する必要はないと思います。

司会：お菓子を導入することは監査委員会副委員長にできることなのですか？

田原さん（監査副候補）：監査にできるかどうかじゃなくてやるかどうかです。

司会：和田さんに質問です。錦城祭準備日にスマホ使用を許可してしまうと意欲的に準備に協力する人が減るのではないでしょうか。

和田さん（錦城祭候補）：スマホが使えないと買い出しに行った人と連絡が付かないため何度も買い出し隊を送り出すことになりかねず、面倒です。準備をしっかりやる人はスマホがあってもやるともいますし、スマホがあることでやらない人はスマホがなくてもやらないような人だと思います。

司会：「オンライン目安箱は今実際にあります」という意見があります。意見箱についての公約を掲げる畑中さんと平本さんにお話を頂きたいと思います。また、オンライン目安箱と現在置いてあるアナログの意見箱はどうしていきたいと考えていますか？

畑中さん（副会長候補）：オンラインのものがあるという事を知りませんでした。私が紙の方がいいと思うこともあり、アナログと併用していきたいと思います。

平本さん（副会長候補）：オンラインのものがあることを知りませんでした。私のように知らない人も多いと思うので、知ってもらえるようにクラスルームで再配信したいです。アナログの方が出しやすい人もいると思うので併用することでいろいろな人が意見をしやすくなると思います。

真剣に討論する候補者たち

司会：石井さんに質問です。夏服期間にポロシャツではなく、体育着を着る必要があるのですか？

石井さん（副会長候補）：ポロシャツでも悪くはないですが、スカートやスラックスなどの制服を着る必要があり、ポロシャツを着れるといえど、制服の涼しさは体育着には勝りません。ポロシャツをさらに超えた涼しさを求めて着れるようにしたいと考えています。

＊＊＊

２時間にわたる候補者同士の熱い討論会となった。

午後に行われる生徒会選挙で候補者の主張をしっかり聞き、あなたの一票で錦城を明るい未来に導きましょう！

手話を覚えよう！⑩

今回、手話を実演して下さったのは、国語科の小向理緒先生。第８弾で紹介するのは、「I love you」という意味の国際手話。片手をパーにした後に中指と薬指を折りたたむ。ロックンロールみたいにやろうね！

私も手話で「好き」「キライ」が出来るので、「水泳キライ」と相手に伝えることが出来ます。

自分の気持ちを、手話などいろんな方法で伝えられたらいいですね！（小向先生）

多様な進路の道を探る

62 回生学部説明会開催

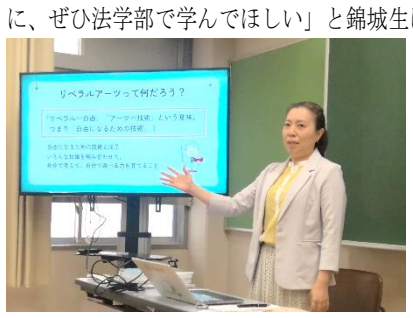
10 月 8 日（水）午後、2 年生学部説明会が行われた。多くの大学が来校し、2 年生は事前に自分が選んだ３学部の説明を受けた。たくさんの生徒がそれぞれの進路に見通しを持つ、良い機会となった。

「ドラえもん」から考える法学

物事を論理的に考える判断力を磨く

法学部について説明してくれた中央大学法学部事務室の冨田夏芽さんは「法律は人との間におこる争いや紛争などを解決するための道具であり、あるべきルールを探究することが法学です」と話してくれた。冨田さんは法学について、「ドラえもん」に出てくるのび太とジャイアンを例に説明をしてくれた。のび太のような力が弱い立場の人が一方的に損をする社会を広げないために法律があると冨田さんは話している。

冨田さんは時代が変わるごとに社会の「正しさ」は変わっていることから、ルールの中身を見直し、運用することが大事であるという。冨田さんは「物事を論理的に考え、より妥当性のある判断を導く力を磨くために、ぜひ法学部で学んでほしい」と錦城生にメッセージを送った。



人の感性が新しい価値をつくる

自分の『好き』を大切に

玉川大学入試広報課の鷲見紗耶香さんは、リベラルアーツ学部についてお話してくれた。リベラルアーツは、古代ギリシャで生まれた自由七科という身の回りのことを総合的に学ぶ学問が由来。『社会では役に立たない、小中高の延長の勉強』と思われがちだが、人間の本質を理解することで感性を磨く学問がリベラルアーツだ。現代は昔と違って、スマホで調べれば誰でも正解が分かる世の中だからこそ、個人の感性が大切になる。iPhone を開発したスティーブ・ジョブズを例に挙げ、「イノベーションはいつも人の感性がきっかけで生まれる」と語った。さらに、様々な分野の学びを繋ぎ合わせることで、今までとは違う見方を発見し、新しい価値を生み出せるという。錦城生に「高校生のうちは好奇心を持って挑戦を続け、自分の『好き』を見つけることが大切です」と話す鷲見さん。「もし、心から楽しめる『好き』が複数あるなら、リベラルアーツ学部で複合的に学んだらどうでしょうか」と締めくくった。

（燕・梟）

昇降口に掲示されている選挙候補者のポスター（11 月４日時点）。個性あふれるポスターを見て、誰に錦城のこれからを任せるのか考えよう。

本日生徒会選挙！

生徒会動静

10.16～11.11

大会報告

▽将棋部
都新人大会予選女子個人
５位入賞

▽女子ソフトボール部
第55回新人大会
・第44回全国選抜予選大会
都ベスト８

▽陸上競技部
東京都高校駅伝2025
男子29位

▽吹奏楽部
小平市民まつり参加

▽剣道部
東京都高等学校秋季剣道大会
男子　一回戦出場
女子　東京都ベスト32
1区49位・2区47位
3区30位・4区17位
5区49位・6区38位
7区49位

▽体育学芸委員会
11月11日

▽球技大会実行委員会
▽選挙管理委員会
随時活動